

放射能分析試験結果報告

弊社商品とその原料において放射能測定試験を行いましたので、その結果を報告いたします。

バーミキュライト原鉱、焼成バーミキュライト、VS34の3点において、セシウム134、セシウム137、ヨウ素131をそれぞれ測定しましたが、いずれも『不検出』でした。

以下に分析結果の読み方と分析結果報告書(2枚目)を添付いたします。弊社商品のご理解にお役立て頂ければと存じます。

千葉県千葉市××区〇〇町
 分析商事 御中

平成 23 年 月 日

分析結果の見方

千葉県千葉市稲毛区山王町 295 番地 3
 財団法人 日本分析センター
 放射能分析業務部長

分析結果報告書

23YE00

1. 契約件名：輸出食品等の放射能検査
2. 分析項目：γ線スペクトロメトリーによる ¹³⁴Cs、¹³⁷Cs 及び ¹³¹I の定量
3. 分析方法：分析試料をU-8 容器に詰めて、測定試料とした。
4. 測定方法：

(1) 測定

お客様がつけられた名前です。LotNo.等の情報も入ります

ゲルマニウム半導体検出器を用いて、測定試料を 1,800 秒間測定し、放射能濃度を算出した。なお、核データは原則として Atomic Data and Nuclear Data Tables (1983 年) に従った。

(2) 測定機器

ゲルマニウム半導体検出器 ORTEC 社製 GEM-25185S

測定に使用した
 検出器の型番

不検出
 (検出していないことを意味しています)
 試料によって検出限界は異なります

5. 試料一覧及び分析結果

試料名	試料受領日	試料検査日	供試量 (g)	γ線スペクトロメトリー			単位
				¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹³¹ I	
〇〇	23. 7. 1	23. 7. 2	80.0	** (11)	12 ± 2.3	** (10)	Bq/kg

- 注) 1. 分析結果は、計数値がその計数誤差の 3 倍を超えるものについては有効数字 2 桁で表し、それ以下のもの(不検出)については ** で示し、検出限界を () 内に示した。
 2. 測定結果については、検査日の結果である。

計数値
 (測定結果です)

計数誤差
 (測定結果に対する
 誤差です)

以上

平成 23 年 8 月 1 日

東京都港区新橋五丁目 7 番 5 号 富士屋ビル 3 階
ブイエス科工株式会社 御中

千葉県千葉市稲毛区山王町 295 番地 3
財団法人 日本分析センター
放射能分析業務部長 池内 嘉宏



分析結果報告書

23YE31

1. 契約件名：環境試料の放射能測定
2. 分析項目： γ 線スペクトロメトリーによる ^{134}Cs 、 ^{137}Cs 及び ^{131}I の定量
3. 分析方法：分析試料を U-8 容器に詰めて、測定試料とした。
4. 測定方法：

(1) 測定

ゲルマニウム半導体検出器を用いて、測定試料を 1,800 秒間測定し、放射能濃度を算出した。なお、核データは原則として Atomic Data and Nuclear Data Tables (1983 年) に従った。

(2) 測定機器

ゲルマニウム半導体検出器 CANBERRA 社製 GC3020-7500SL

5. 試料一覧及び分析結果

試料名	試料 受領日	試料 検査日	供試量 (g)	γ 線スペクトロメトリー			単位
				^{134}Cs	^{137}Cs	^{131}I	
パーミキュライト原鉱	23. 8. 1	23. 8. 1	75.9	** (9.2)	** (6.4)	** (5.8)	Bq/kg
パーミキュライト			14.3	** (49)	** (37)	** (34)	
VS34			19.3	** (33)	** (25)	** (21)	

- 注) 1. 分析結果は、計数値がその計数誤差の 3 倍を超えるものについては有効数字 2 桁で表し、それ以下のもの (不検出) については ** で示し、検出限界を () 内に示した。
2. 測定結果については、検査日の結果である。

以上